

## 1 学校教育目標

○思いやりのある子    ○深く考える子    ○進んで実行する子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○児童、教職員共に心理的安全性の高い居場所となる学校 ○教員一人一人が教育目標のために自走するとともに自己実現できる場 ○児童、保護者、地域社会から信頼される開かれた学校
○児童・生徒像	○人権と生命を尊び、多様性を理解し相互承認ができる児童 ○物事に自ら問いを見だし、多面的に捉えたり考えたりすることができる児童 ○失敗を恐れず、挑戦することへの価値を理解して一步を踏み出せる児童
○教師像	○教育のプロとしての自覚と誇りをもって職務に当たる教師 ○子供の将来を見据えて、共に成長できる教師 ○職に甘んずることなく、高い人間性を得るべく学び続ける教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### ◎学校の現状

- ・児童数332人、全学年2学級で規模的には落ち着いた学校である。学習規範や生活規範から大きく外れることなく、学習に取り組んだり特別活動に勤しんだりすることができる。高学年が低学年の面倒をよく見ており、縦割りの関係も良好である。
- ・職員室の雰囲気がとてもよく、「お互い様」の精神で学年を超えて協力し合える雰囲気がある。
- ・授業力を高めたいという意欲ある若手が多く、熱心に内外で学んでいる。ベテラン教員も現状に甘んじることなく互いに切磋琢磨している。

### ◎前年度（R5）の成果

- ・コロナが明け、ほとんどの教育活動を制限なく行うことができた。そのうえで、現在の在籍児童と教職員の実態に合わせて各活動を見直し、精査しながら企画運営を行った。児童らは学習、生活、特活など実感をもって学ぶことができた。
- ・ICTを積極的に取り入れ、現在では授業はもちろん、AIドリルや話し合い活動、まとめ活動などでも自然に活用する場面が増えてきた。
- ・地域とも昨年度に引き続き連携を図ることができた。運動会、音楽会、感謝集会などでご来賓としてお招きすることができた。

### ・前年度（R5）の課題

- ・教育活動は見直したものの、目標に対して未達のものや精査が必要なものがある。
- ・教員一人一人の授業力やICTスキルも差があるので、底上げを図っていく必要がある。
- ・R5は正規職員が8/20入れ替わり、R6は7/20入れ替わる。引き続き、好機ととらえていきたい。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	○	○
2	心身共に健康で、心豊かな児童の育成	○	◎	○	○	○
3	安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成	○	○	○	○	○
4						

## 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
現状の学力を保ちつつ、主体的な学びを推進する		区学力調査で全校平均75%	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
新規	主体的な学びの推進	全学年	毎月1回の研究会 学年1回研究授業	【教員】 ・社会科・生活科で校内研究を実施 国研の実証協力校となり、調査官の指導を受ける	教員・児童アンケート等 (5月・2月)	年度末で4月当初より5ポイント以上UP	自己評価の際に記入		
新規	校務DX	全教員	通年・随時	【教員】 ・区教委から校務DXの指定を受けた。校務の作業効率を図ることで、教職員の働き方を見直し、より児童一人一人に適した指導をしていく	DX化の項目数と作業時数の比較	校務対応時間10%削減			

継続	西一タイム	全学年	通年毎週水	<b>【児童】</b> ・区調査や単元テストなどで正答率70%未満の児童は、復習、反復を中心として補習学習 ・通過率を達成している児童は、発展学習を行う	区学力調査	年度末通過率 75% 12月・2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
継続	A I ドリルタイム	全学年	毎週火	<b>【児童】</b> ・毎週火曜日の朝学習で基礎基本の定着を図る ・A I ドリルを活用した反復学習	M I M Q b e n a	年度末学習率 80% 7・12・2月	
継続	家庭学習かんばろう週間	全学年	月初	<b>【児童】</b> ・家庭学習の提出率を確認 ・内容、頻度は個人別	学力向上委員会で年3回	提出率80%以上	
継続	I C T の活用	全学年	各教科・領域	<b>【教員】</b> ・デジタル教科書、ClassRoom、他話し合いやまとめようツール	年2回アンケート調査	週3回以上活用が90%	
継続	朝読書	全学年	毎週金	<b>【児童】</b> ・読書通帳の発行。年度当初は紙で管理するが、デジタル化を検討し、児童同士が互いに情報共有する	読書通帳	年間平均 80冊	
継続	学校図書館の利用促進	全学年	随時	<b>【児童】</b> ・年3回の旬間 ・図書館司書教諭との連携 ・図書委員会や特活でイベントの企画、展示会の企画等を行う ・各学年の年間計画への位置づけ	学校図書基本計画	企画は3回以上、来室者は前年比10%UP 調べる学習コントロールへの応募80%	

重点的な取組事項－2		心身共に健康で心豊かな児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心豊かな児童の育成		以下8基準のA評価80%以上	<b>自己評価の際に記入</b>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・心身の健康づくりの奨励	○歯磨き指導の取り組み ○長縄や持久走の運動及び体力向上の取り組み	・歯ろー6ちゃん（1年） ・短縄週間、長縄旬間の実施 ・持久走旬間の実施 ・外遊びの推進	<b>自己評価の際に記入</b>		
・生活習慣の確立	○「いきいき生活週間」の取り組みを年間3回実施する。	・記載方法の変更をして、生活の見直しと自己肯定感の向上を図る			
・豊かな体験活動による思いやりの心の育成	○地域との交流を中心とした総合的な学習の時間を設定 ○ピカピカデーを年間2回実施	・各学年にテーマを設けた地域学習 ・地域の公園清掃奉仕活動			
・「食」への自己管理能力の向上	○給食メニューコンクール ○食育授業 ○給食残さい率 <u>1.5%以内</u> を目指す。	・5・6年は全員が応募 ・各学年年間1時間以上 ・もりもり給食ウィーク			

重点的な取組事項－3		安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
安全意識の高揚		達成率100%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・保護者や地域関係機関と連携した保健・安全教育の推進	○避難訓練を年間11回実施。 ○薬物乱用防止教育(6年)自殺防止教育(5年)を年間1回実施。	・避難訓練年間11回(うち、放課後子ども教室との共催1回) ・消防署見学(3年)起震車体験(4年)消火訓練(5年)	自己評価の際に記入		
・地域安全ボランティア・保護者と共に児童の登下校の安全確保	○ <u>地域の方々、PTA 校外部と教員の下校の見守り年間2回実施。</u> ○年間3回の登校指導、あいさつ指導	・地域安全ボランティアへの感謝集会を11月に実施。 ・集団下校をPTAと連携し年間1回行う。 ・児童と教員で校門において朝あいさつ運動を行う。			

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

### (3) その他（学校教育活動全般について）